

あ〜ちゃん、かしゆか、のっちによるPerfumeは2005年メジャーデビュー。2007年に楽曲「ポリリズム」で知名度を高め、翌年NHK紅白歌合戦に初出場を果たします。約20年の間、第一線で活躍を続けたその背景には、魅力的な楽曲やダンス、最先端技術を駆使した演出に加えて、3人が身にまとう華やかな衣装の存在がありました。



結成10周年、メジャーデビュー5周年記念！Perfume LIVE @東京ドーム「1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11」2010年
デザイン：Toshio Takeda 制作：仲宗根珠子
初の東京ドーム公演、オープニングパフォーマンス「GISHIKI」で着用された衣装。3人がパールを手に肅々とセンターステージへと集っていく、荘厳なセレモニーを思わせる演出の中、美しく作りこまれたドレスの存在感は大きく、観客を魅了しました。

コールドスリープ宣言後に行われた、2025年東京ドーム公演では、エンディングで「GISHIKI」が行われました。白い衣装に身を包んだ3人は、センターステージからそれぞれの花道を進み、観客の前から姿を消したのです。

お気に入りの衣装は見つかりましたか？
Perfumeの衣装はダンスや演出によって、印象ががらりと変わることも。
Perfume YouTube Official Channelもぜひチェックしてみてください。



1〜9はすべて『Perfume COSTUME BOOK 2005-2020』
『Perfume COSTUME BOOK 2005-2022 e-book edition』より ©文化出版局

Perfume COSTUME MUSEUM FINAL EDITION

2025年11月15日(土)～2026年1月12日(月・祝)

そごう美術館 [横浜駅東口 そごう横浜店6階]
郵便番号 220-8510 横浜市西区高島2-18-1
電話 045(465)5515(美術館直通)
<https://sogo-museum.jp/>
X(旧Twitter): @sogomuseum

[デザイン]
tabby design
[編集・発行]
そごう美術館 2025年10月

そごう美術館
公式サイト



鑑賞ガイド



Perfume COSTUME MUSEUM
FINAL EDITION

三位一体

あ〜ちゃんは膝丈、かしゆかはミニ丈、のっちはパンツスタイル。活動初期を支えたスタイリスト・内澤 研によって作り出されたスタイルは、Perfume衣装の基本型となりました。3つの衣装が織りなすハーモニーをお楽しみください。

「Dream Fighter」2008年

スタイリスト：内澤 研

既製服をカスタマイズした衣装。色は統一しつつ素材感はあえてばらばらに。見る人の視覚を刺激します。



メジャーデビュー時、近未来・クールなイメージを印象付けるべく黒色だった衣装。活動を重ねていく中で、色彩豊かに変化していきました。さまざまな色を着こなしてきたPerfume。好きな色・配色の衣装を見つけてみましょう。



Perfume 3rd Tour [JPN] 2012年

デザイン：Toshio Takeda 制作：SAQULAI, Inc
蛍光色をメインにしたカラフルな衣装は大きな舞台でも人々の目を引きまします。

多彩なデザイン

2010年、Perfumeの衣装デザインはToshio Takeda・三田真一の2名のスタイリストに引き継がれました。以降、「Perfumeらしさ」をふまえつつ、それぞれの強みを活かした多種多様な衣装が生まれます。



Perfume Anniversary 10days 2015

PPPPPPPPPP「LIVE 3:5:6:9」2015年

デザイン：Toshio Takeda 制作：内藤智恵
ニュアンスの異なる素材を上品にまとめた衣装は舞台映えも抜群。Takedaさんは、ファクションのトレンドを巧みにとり入れ、細部を作りこむことで、優美な衣装を作り出しています。

Perfume 8th Tour 2020 “P Cubed” in Dome 2020年

デザイン：三田真一 制作：SAQULAI, Inc

風船から着想を得た立体構造のスカートが、ユニークな衣装。三田さんは豊かな発想のもと、強いインパクトを残すアイコン的な衣装作りが得意です。折り紙や江戸切子など、日本の伝統的意匠がモチーフになることも。

Perfumeの活動を彩ってきた、美しく独創的な衣装の数々。

本ガイドでは衣装を見るのがもっと楽しくなる、鑑賞のポイントについてご紹介いたします。

衣装制作

美しさはもちろん、ダンスや歌唱、ライブでの早着替え…などなどPerfumeの衣装に求められる要素は多岐にわたります。機能と美の両立は、SAQULAI, Inc、内藤智恵、村田菜穂(nju)らドレスメイカーの、優れた制作技術に支えられています。

「ポリゴンウェイヴ」2021年

デザイン：Toshio Takeda 制作：SAQULAI, Inc
黒いパーツには高熱で固まる新素材を使用。固まった状態の“布”からパーツをひとつひとつ切り出し、格子を成形しました。



色

生地

衣装は機能と美を両立させるべく、さまざまな性質の生地を組み合わせています。また、ふわふわ、つるつる…など生地の素材感は衣装の印象を決める要素の一つ。衣装の生地を観察してみましょう。



Perfume LIVE 2021 [polygon wave] 2021年

デザイン：Toshio Takeda 制作：SAQULAI, Inc
ミラーボールをイメージ。メタリックな生地は光を受けてきらきら輝きます。

ミュージックビデオなどで着用され、楽曲イメージ・世界観を伝える衣装とライブ衣装は、似たデザインでも作りが異なっていることがあります。比較して、違いを探してみてください。

楽曲衣装・ライブ衣装

(参考作品)「LEVEL 3」2013年
デザイン：三田真一 制作：SAQULAI, Inc
「スタンドグラスを身にまったらどう見えるか」という発想から生まれた衣装。三角モチーフの柄は、スタイリスト自らアクリル板を並べて制作。折り紙のようなアコーディオンブリーツも特徴的な力作です。



Perfumeの衣装は、派生・発展をとげた特徴的なデザインが継承されていくことがあります。また、過去の衣装を再解釈した新しい衣装が制作されることも。衣装同士のつながりを探してみましょう。

巡る衣装

「TOKYO GIRL」2017年

デザイン：Toshio Takeda 制作：内藤智恵
未来のエレベーターガールがテーマの、レトロフューチャーな衣装。配色・特徴的な帽子のデザインにご注目ください。

